



喜界島ジオパーク(構想)  
Kikajima Geopark (Plan)

## 月刊喜界島ジオパーク 令和7年4月号

### 喜界島ジオパーク推進協議会事務局 土屋純子

#### 喜界島ジオパーク推進協議会

#### 評議委員会を開催しました



3月19日、喜界島ジオパーク推進協議会の評議委員会を開催しました。

評議委員会とは、私たち喜界島ジオパーク推進協議会の運営において重要な事項を決定する意思決定機関のことであります。今回は、活動を円滑に進めるための運営体制図の見直し、現在の活動に合わせた基本構想の改定、日本ジオパーク申

請書類の承認について協議を行い承認されました。

#### ・日本ジオパーク申請書類の承認と

#### 今後のスケジュール

4月に提出予定の日本ジオパーク認定申請書類は、この評議委員会で正式に承認されました。今後、書類提出に向けた最終調整を行い、認定に向けた準備を進めていきます。書類審査が通過の後5月に千葉でプレゼンテーション、夏には審査員の方が現地調査に来る予定です。引き続き、喜界島の魅力を発信し、日本ジオパーク認定に向けた取り組みを進めてまいります。

#### ・今回の評議委員会には、学術顧問の

#### 先生にもご参加いただきました！

学術顧問とは、私たち喜界島ジオパーク推進協議会事務局の活動を学術的な視点からアドバイスやサポートをしてくださる専門家です。喜界島にはわれらが誇る「喜界島サンゴ礁科学研究所」がありますが、学術顧問の先生方のアドバイスを聞くと、新たな視点や発見があり、「なるほど!」と頷くことばかりです。

喜界島ジオパーク推進協議会では、現在2名の先生が学術顧問として活動に関わってくださっています。

松田博貴先生 専門…地質堆積学

熊本大学名誉教授

公益財団法人深田地質研究所理事

松田先生が初めて喜界島を訪れたのは1986年、今から39年前のこと。博士課程2年目の頃だった。修士課程までは他の地域で調査をしていたが、喜界島へとたどり着いた。以降、喜界島における地下水の研究に取り組まれた。その後、石油関連の研究にも従事しつつ、30年前に熊本大学で教鞭をとることに。以来、学生たちを連れて喜界島を訪れ、研究を続けている。実は、「時刻表鉄」としての一面も持ち合わせている。

佐々木圭一先生 専門…地質年代学

金沢学院大学情報工学部  
情報工学科教授

佐々木先生が喜界島を初めて訪れたのは1993年、修士課程2年目の時だった。その際、島のレストランで食べたヤギ汁のおいしさに衝撃を受けたという。その感動が研究への道を後押ししたのか、佐々木先生は喜界島を研究フィールドとし、博士論文も喜界島に関する内容で執筆。以来、繰り返し島を訪れている。大学のある石川県にもアサギマダラが飛来するが、それ以上に佐々木先生は喜界島へ足を運んでいるようだ。

#### 鹿児島県立博物館企画展 「ジオパークに行こう!」開催中!

県内の魅力的な地質や地形を紹介する企画展「ジオパークに行こう!」が開催中です!県内3つのジオパークをはじめ、鹿児島の大地の魅力がたっぷりと紹介されています。そして、ジオパーク認定を目指す地域として喜界島も取り上げられています!ぜひ、ご覧ください♪

(開催期間…6月1日まで)



松田先生

佐々木先生

